

(仮称) 苫小牧市民ホール建設基本計画（案）に寄せられた意見と市の考え方について（パブリックコメントの結果）

- ・意見提出期間：平成30年1月13日 ～ 平成30年2月25日（44日間）
- ・意見提出人数：11人
- ・提出意見件数（項目）：11件（11項目）
- ・提出意見と市の考え方・提出意見を考慮した結果とその理由：次のとおり

項目 No.	提出 人数	提出された意見 (意見提出区分 第三者利益による削除等の有無)	提出された意見に対する市の考え方 提出された意見を考慮した結果とその理由	反映区分
1	3	(原文・ <u>整理要約</u> 有・ <u>無</u> ) 【16 ページ 第2章2-1. 建設予定地】 ・より多くの方が駅から会場までを往来し、中心市街地での機会創出増加が期待できる。商店街の更なる活性化に繋がりを、組織活動も活発化するので、駅前完結型ではない原案を強く希望する ・駐車場確保の必要性は理解できる。一部を立体駐車場にするなど、民間企業などとの意見交換を積極的に行って、立地のメリットを最大限に引き出してほしい ・建設予定地は、基本計画案に賛成。中心市街地活性化の取組との連携の可能性も高く、まちなかの賑わいづくりに最も寄与すると思う。駐車場を有料にするなど、この場所ならではの収入についても考えられる場所だと思う	建設予定地につきましては、建設における法的規制や周囲への影響に加え、駐車場の台数を確保する必要性等から建設地を選定しました。 また、ご意見にもあるように、立地のメリットを最大限に生かすことが出来るよう、民間活力による創意工夫や相乗効果の可能性を調査しながら、将来のまちづくりへの重要な拠点として整備に努めてまいります。	B
2	2	(原文・ <u>整理要約</u> 有・ <u>無</u> ) 【30 ページ 第3章3-1. 事業計画の基本的な考え方 (事業アイデア)】 ・専門知識習得や技術者育成のための講座や発表の場とする ・科学、文化、芸術等の活動や触れ合う場所を提供する	基本計画では、「育てる」「集う」「知る」「関わる」「つなぐ」の5つの事業コンセプトと10個の事業方針に基づき、各機能・スペースで実施する63の事業アイデアをまとめました（基本計画34、35 ページに記載）。これらの事業アイデアには、ご提案いた	B

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽ライブ活動の発表の場としてのイベントを開催する</li> <li>・幼稚園児から中学生までの作品を週替わりで展示する</li> <li>・利用率を上げるために、スタンプラリーやポイント制などを導入する</li> <li>・大ホール、小ホールについて、一流になる卵達の発表の場や市民参加型の大規模な発表会など、市民の活動の場として考えてはどうか。</li> <li>・市民ホールを主体とした周辺の公共施設を憩いのエリアとして有効活用する</li> <li>・様々な文化芸術活動と中心市街地での活動の連携はとても大切だと思う</li> </ul>	<p>いただいたアイデアと同様の趣旨の内容も含まれております。ご提案いただいたアイデアを含めて、それらが適切な形で表現され、将来的にも柔軟に展開できる仕組みを構築できるよう努めてまいります。</p>	
3	1	<p>(原文・<b>整理要約</b> 有・<b>無</b>)</p> <p>【39 ページ 第4章 4-2. 施設の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「サードプレイス」というテーマや、高度で創発的な文化・芸術拠点とする計画をどのように実現していくかイメージが難しい。今後も市民参加の機会や、情報提供を望む</li> <li>・「サードプレイス」に考えが偏りすぎて論点がずれることを危惧している</li> </ul>	<p>市民ホールは、本市におけるこれまでの文化活動の実績と将来的なあり方を考慮して、現在の市民会館や文化会館などの周辺公共施設などの機能を融合した新たな複合施設を目指しています。単に老朽化した公共施設の建替えや集約ではなく、今後を見据えて、これまで足を運ぶことがなかった人にとっても魅力を感じてもらえるような施設とすることも必要です。</p> <p>このため、「苦小牧市民のサードプレイス」をテーマに掲げる新しい施設のイメージの具体化へ向けて、今後も引き続き、市民参加の機会や情報提供に努めるとともに、基本計画における事業アイデアを実現する道筋を示したり、集客力を高めるための工夫や、施設を含むゾーンの相乗効果が図れるような付帯機能の可能性について調査を進めて、これまでの公共施設にとらわれないサードプレイスの具体的なイメージを作ってまいります。</p>	C

4	2	<p>(原文・<b>整理要約</b> 有・<b>無</b>)</p> <p>【41 ページ 第4章 4-3. ゾーニングと動線計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 駐車場内は一方通行にした方が流れが良くなり渋滞もすくなくなる</li> <li>・ 公道と駐車場出入口には信号機が必要と思う</li> <li>・ 自動車以外で行ける交通の利便性について、交通事業者などと協議してほしい</li> <li>・ バックヤードを設けることは、大型車との混乱もなくなり良かった</li> <li>・ 扉の大きさとか、搬入口の位置関係をはじめとして、バックヤードの充実は出演者の重大な関心事。今後も利用者の意見を聞く機会を多く持って欲しい</li> </ul>	<p>駐車場の配置、公道からのアクセスや駐車場への進入などの交通の動線につきましては、今後、施設配置などを具体的に決めていく中で、車の流れも十分に考慮しながら人や自動車の動線を整備していきたいと考えております。搬入口も含めたバックヤードの使い勝手も意識したゾーニングと動線計画を検討します。</p>	C
5	2	<p>(原文・<b>整理要約</b> 有・<b>無</b>)</p> <p>【48 ページ 第4章 4-5. 諸室の面積や設備 (大ホールの席数)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公演主催者が利益を確保できるキャパシティが最重要であり、席数 1,500 を確保できるのが一番良い</li> <li>・ 現市民会館大ホールの席数はコンサート事業者にとって魅力的であると思う。また、地元で有名アーティストを見たいという市民要望に応える上でも、大ホールの座席数について、1,500 席程度の収容数を確保していただきたい</li> </ul>	<p>現市民会館の大ホールにおいては、利用の多くが 1,300 席以下である実態等を踏まえ、大ホールの席数につきましては、年に数回の大きなイベントに合わせるのではなく、市民の皆様に使っていただける規模として、1,200～1,300 席が最適な規模であると考えています。現市民会館の大ホールの 1,630 席よりも減少しますが、演者にとって使いやすい設備を整えることも重視し、市民の憧れや誇りとなるようなホールを目指すほか、入場者数に応じた段階的な利用方法も検討しながら、今後の設計段階でより具体的な席数について決定していきたいと考えております。</p>	D

6	1	<p>(原文・<b>整理要約</b> 有・<b>無</b>)</p> <p>【48 ページ 第4章 4-5. 諸室の面積や設備 (大ホールの席数)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大ホールの席数について、運営を担う可能性のある事業者の意見を聞く中で、採算性が見込め、かつ、事業費上昇のリスクや、バックヤードなど使い勝手に影響を回避できる事業計画がある場合などは、席数を増加することができるように、柔軟な対応と取組を求める</li> </ul>	<p>大ホールの席数につきましては、現在の利用状況や将来の市民への負担等を考慮し、市民の皆様に使っていただける規模として、1,200～1,300席が最適な規模であると考えています。ご意見については、今後の進め方の参考とさせていただきます。</p>	C
7	2	<p>(原文・<b>整理要約</b> 有・<b>無</b>)</p> <p>【48 ページ 第4章 4-5. 諸室の面積や設備 (小ホールの席数)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>吹奏楽の定期演奏会などには500人来るので、主催者、観客双方にとって、小ホールは固定席で500席必要</li> <li>現文化会館は座席数と料金を理由として稼働率が高いことから、小ホールについて、現在の席数である500席は絶対に必要。400席になる可能性も残っている点が心配</li> </ul>	<p>小ホールの席数につきましては、利用率が高い現文化会館のホールと同等規模を想定しており、入場者数に応じた段階的な利用方法も検討しながら、今後の設計段階でより具体的な席数について決定していきたいと考えております。</p>	B
8	3	<p>(原文・<b>整理要約</b> 有・<b>無</b>)</p> <p>【48 ページ 第4章 4-5. 諸室の面積や設備 (多目的利用ができるホールの設置)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>現市民会館には多目的な小ホール(268.5㎡)があり、多数の利用があることから、多目的利用ができる小ホールの設置が必要である</li> <li>基本計画では、現在の市民会館の小ホールのような部屋が残されるのかわからない。100㎡程度のスペースでは足りないため、多目的に使える施設を計画内で表現してもらえないか</li> </ul>	<p>基本計画案では、現市民会館の小ホールの規模や機能は「活動室」として位置づけており、複合対象施設で現在行われている様々な活動とともに、新たなニーズにも対応できる柔軟な設えを想定しております。</p> <p>具体的には、複数の部屋をつなぎ一体的な利用を可能とする諸室を設けたり、活動室とコラボスペースを組み合わせるなどの利用方法が挙げられます。</p> <p>このような点を明らかにするため、本意見を踏まえて、基本計画の48ページの表4-1面積表中の活動室の表記について、「※複数</p>	A

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・小ホールは講堂形式ではなく、現市民会館小ホールのようなワンフロアにしてほしい</li> </ul>	<p>スペースを一体にして、300 m<sup>2</sup>級の多目的室を確保」と追記させていただきます。</p>	
9	7	<p><b>(原文・整理要約 有・無)</b></p> <p><b>【38 ページ 第4章 4-1. 施設整備の基本的な考え方】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ユニバーサルデザインの考え方を採用すべき</li> <li>・事前に当事者の意見を聞き、障がいのある方も利用しやすい施設になるような取組をしていただきたい</li> </ul> <p><b>【48 ページ 第4章 4-5. 諸室の面積や設備】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・舞台に冷房が必要</li> <li>・座席全体や座席自体が可動し、いろいろな見え方ができるような仕組みにしてはどうか</li> <li>・身障者用屋根つき駐車場エリアの設置</li> <li>・トイレに関する事項 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウォシュレット化</li> <li>・オストメイトに配慮した設備の設置</li> <li>・車椅子の方に配慮した室内面積とセンサー照明</li> </ul> </li> <li>・エレベーターに関する事項 <ul style="list-style-type: none"> <li>・車椅子の方が利用可能な広さの確保</li> <li>・車椅子の方が操作可能な高さのスイッチ類設置</li> </ul> </li> <li>・水平式エスカレーターの設置</li> <li>・ホール内座席の車椅子対応</li> <li>・ホール内の階段移動を補助する手すりの設置</li> <li>・視覚障害者が利用可能な歩行誘導マットの設置</li> <li>・授乳室や託児室等の設置</li> <li>・駐車場のロードヒーティングや路面凍結対策、建屋全体の</li> </ul>	<p><b>【施設整備の基本的な考え方】</b></p> <p>市民ホールの基本理念の中には、市民の誰もが分け隔てなく平等に参加し活用でき、また、だれもがハードルを感じない施設を目指すことを掲げています。不特定多数の人が利用する施設であることから、福祉のまちづくり条例のほか、基本計画策定における検討委員会での議論を踏まえ、施設整備の進行状況にあわせて利用する当事者の意見を聞く機会を設けるなど、市民や団体等との対話を繰り返しながら、必要な設備を検討してまいります。</p> <p>また、民間活力の導入可能性についても調査しながら、市民ホールとの相乗効果が図られ、市民サービスが向上するような機能等における民間との連携について検討していきたいと考えております。</p> <p><b>【諸室の面積や設備】</b></p> <p>空調設備については、現在の施設における課題であり、市民ホールにおいて必要な機能であると考えています。</p> <p>また、その他の施設の設備につきましては、今後の設計段階でより具体的な内容を決定していくこととなりますが、施設の利便性や利用の可否に大きく関することから、ご意見を参考にさせていただきますながら、進めていきたいと考えております。</p>	C

		<p>落雪・ツララ対策が必要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境にやさしい電力・冷暖房が賄える自立分散型のエネルギー供給システムを検討してもらいたい</li> <li>・苫小牧にも屋内で子どもが安心して遊べるような複合施設があってもいいのではないか。函館の大型書店や千歳の子どもが遊ぶ施設、商業施設のちびっこ広場などを参考に、苫小牧ならではの複合施設を民間の力を借りてでも目指してほしい</li> <li>・文化芸術の情報発信機能として、コミュニティFMなどの放送スタジオを設けるなど、常に情報発信し続ける場所であってほしいと思う</li> </ul>		
10	1	<p>(原文・<b>整理要約</b> 有・<b>無</b>)</p> <p>【72 ページ 第6章 6-1. 管理運営体制の基本的な考え方】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行政に依存することなく、一般財団法人、NPO 法人、株式会社方式による地元法人などの管理運営組織を創設することも含めて検討していただきたい。</li> </ul>	<p>管理運営体制につきましては、基本計画の 72 ページに記載した基本的な考え方に基づいて、様々な観点から最も適した運営体制を総合的に判断してまいりたいと考えております。</p>	<b>C</b>
11	1	<p>(原文・<b>整理要約</b> 有・<b>無</b>)</p> <p>【78 ページ 第6章 6-4. 施設利用の考え方 (使用料の設定)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・将来の苫小牧を担う児童生徒の活動を支援する仕組みの一つとして料金の設定も検討されていることは高く評価したい。スペースを限定した場合の料金設定を行うなど、割安で活動を支える仕組みを実現してほしい。備品の定額制(パック制)などによるわかりやすい料金設定や、暖房費による冬季間が極端に高くなる制度設計の見直しも求める</li> </ul>	<p>使用料につきましては、複合対象施設の現状を踏まえながら、基本計画の 78 ページに記載した内容に加えて、利用目的(営利/非営利)などによる料金設定、特定の団体だけではなく個人利用や新たな市民のつながりを促進できるような仕組み、活動規模に応じた柔軟な貸出と使用料設定など、管理運営計画の検討を進める中で、適切な使用料を設定することが大切だと考えております。</p>	<b>C</b>

反映区分	提出された意見の反映状況
A	意見を受けて案を修正したもの
B	案と意見との趣旨が同様と考えられるもの
C	案を修正していないが、今後の施策の進め方等の参考とするもの
D	案に取り入れなかったもの
E	案の内容についての質問等

「原文」とは、提出者の氏名、連絡先等を除いた提出された意見そのものであり、整理、要約、削除等をしていないものをいいます。担当課において、原文の備付けや閲覧による対応が必要となります。「整理要約」とは、提出者の氏名、連絡先等を除いた提出された意見を整理、要約、削除等をしたものをいいます。

なお、「原文」・「整理要約」のいずれの場合であっても、第三者の利益を害するおそれがあるとき（個人のプライバシーに係る事項、企業秘密等）や、その他正当な理由があるとき（提出意見を公にすることにより公益上の支障があるとき等）は、その部分について除くことができます。